

北勢町で活動してみえる「リコーダーアンサンブル かあちゃんズ&マミーズ」の会からリコーダーの先生を学校にお迎えした。指導を受けるのは3、4年生▼リコーダーの先生は、毎朝登校ボランティアでもお世話になっている地域の方でもあった。いなべ市市民活動センターが2022年11月に発行している「市民活動・ボランティア団体紹介」という小冊子をパラパラとめくっていた時に目が留まったのが発端▼リコーダーは3年生になって初めて扱う。1学期に習う曲は、ソ〜レまでの5音で構成される曲。4年生になると「ド」から高い「ミ」の音まで習うと聞いた▼きれいな高い音を出すのが難しい。息の強さ、穴のふさぎ方を丁寧に教わりながら、1曲を吹き通せるように教えていただいた▼授業の最後は、先生の模範演奏。4年生は「君をのせて」わたしは都合で聞くことはできなかったが、教頭先生曰く「拍手喝采でした」3年生は、6種類のリコーダーの紹介とドラえもんでおなじみの「夢をかなえて」音楽担当の先生も参加しての模範演奏。手拍子とともに数人の子どもたちが歌を口ずさむ▼「生の芸術に触れる」ことは子どもの琴線に触れることである。臨場感と一体感がある。ただ、リコーダーの吹き方だけを教わったのではない。本物に触れるのは、「感情の教育」でもある。明日は、6年生に「本物」がやってくる。阿下喜楽が始まる。